

前期後半につながる夏休みにしよう！

夏休み前であっても、最後まで授業に取り組む姿勢は立派でした。授業において、「できた」「わかった」を定着させるためには、日頃の家庭学習を充実させていくことが大切です。夏休みの課題は期末考査の学習も兼ねて、夏休み中にやり遂げて学習の見直しを行いましょう。先生方は前期後半に向けて研修を積む7月となりました。

中体連・中文連の続報です！



演奏でき、思い出に残るステージにすることができました。

コロナ禍で練習が思うようにいかないときもありましたが、部員全員で目標に向けてがんばってきました。

最後のコンクールでは、全員が心から楽しんで演奏でき、思い出に残るステージにすることができました。



結城 満琳

7月20日(水) 夏休みの生活について！

夏休み

学習担当の坂田先生のお話

いよいよ明日から夏休みです。みなさんは、夏休みをどのように過ごそうと考えていますか。一つでいいので、今までできていなかったことに挑戦して、達成感をもって前期後半をスタートしてほしいと思っています。例えば、3年生は進路実現に向けて、自分の苦手な教科や分野ができるようにじっくり時間をかけて取り組んでいくことも一つだと思います。1・2年生は、期末考査に向けて、これまでの学習を振り返ってやり直しをしたり、興味のあることを詳しく調べたりする時間をゆっくりとてみることで、新たな知識を身につけられると思います。この夏休みで、自分の目標をしっかりと決め、計画的な学びと普段できない経験を積んで、新たな自分をみつけられるような充実した夏休みにしてほしいと思います。



生活担当の中島先生のお話

前期前半を振り返ってとても思うことがあります。それはたくさんの人があいさつを大切にしてくれているということです。廊下を歩いている時、授業の前、昼休み、放課後など、たくさんの人とあいさつを交わします。あいさつを交わす度に、すごく元気をもらいます。ありがとうございます。一人一人が東中をあたかい学校にしようと心がけることがすごく大事だと思います。

夏休みは、自分に使える自由な時間が増えます。勉強、部活に打ち込む人。家族や友達との時間を大切にするものいいと思います。何か新しいことにチャレンジしたりするのもいいです。その中で、意識して欲しいことはルールを守って楽しい夏休みを送って欲しいということです。このあと、夏休みの心得が配られますが、しっかり内容を確認してください。そして、何より自分を大切にしてください。外を出歩く時は、必ず交通ルールを守ること。長期休みになると不安や悩みが増える人もいます。一人で悩むのではなく、友達、家族、先生、誰でもいいのでまずは相談をしてください。必ずあなたを支えてくれる人はいます。夏休みを最高の時間にしてください。



7月14日(木) 研究発表会に向けた検証授業①



10月27日(木)の研究発表会に向けて、清水先生が検証授業を実践しました。中学1年生の理科「いろいろな物質」の学習で、「砂糖」「食塩」「片栗粉」の3種の白い粉末を自分たちの考えた実験方法で、根拠をもって区別することを授業のゴールとして進めました。

意欲的に実験、観察を行なって、わかったことを話し合い、気づいたことを記録して、何の物質であるか班員との対話を活発に行なって意見を交わしました。実験結果をもとにして、3種の白い粉末の相違点と共通点に注目して、その性質の違いから結論を出すことができました。白い粉末が何であったか、科学的な根拠をもって考える姿は、今後の学びにつながるものでした。



7月15日(金) 研究発表会に向けた検証授業②

研究発表会に向けた検証授業その2で、櫻木先生が中学2年生の数学科「1次関数」の学習で実践しました。この時間の「めあて」を「身近なことから1次関数となるものをたくさん見つけよう。」として進めました。授業のはじめに、湯沸かしポットの実物を用いて、水の温度と温める時間の関係を例にして、1次関数をイメージしやすくされていました。身近にある事象をたくさん見つけることで、1次関数を理解させようというものでした。他の人が気づいたことをクロムブックで確認できるので、参考にしながら考えを広げていきました。班活動では、自分がみつけた事象をどのように考えたのか交流して、みつけた1次関数の事象が私たちの生活にどのように役立つのかということも話し合いました。



7月25日(月) 職員研修をすすめています！



- ①学校教育活動助成金交付式を行ないました。公益財団法人、日本教育公務員弘済会福岡支部に教育活動助成金の申請を行なったところ、交付校に選出していただくことができました。
- ②授業改善調査の結果について、現状と課題についての報告を行ないました。今後、前期後半に向けて、授業改善に取り組んでいきます。
- ③実践授業報告について、清水先生と櫻木先生の授業実践から、研究のポイントを整理して、発表会に向けての確認を行ないました。
- ④不祥事防止について、校長が講師となって風とおしのよい職場づくりについて講話しました。
- ⑤スクールカウンセラーによる研修で、花田スーパーバイザーに講師をお願いして、「生徒支援」について講話を頂きました。
- ⑥特別支援の視点からの授業づくりを特別支援コーディネーターの徳永先生の進行で、職員全員で演習を行ない、発表して意見交流しました。

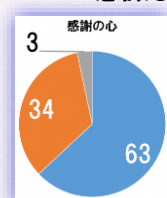
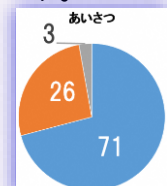
東風魂四訓の意識調査結果です！



これまでの学校生活を振り返ってほしいと思います。4月の始業式、入学式から3ヶ月が過ぎました。日本一あたたかい学校をめざしていますが、皆さんが東風魂四訓をどれくらい日頃から意識しているのだらうと思い、アンケートを取らせて頂きましたので、紹介します。

「あいさつ」は心の鏡であり、その時の心の状態を表します。気持ちのよい挨拶は、自分の気持ちを奮い立たせて活動力を向上させます。

意識している人が71%、意識している方だという人が26%

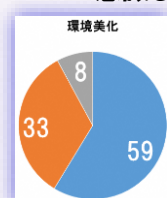
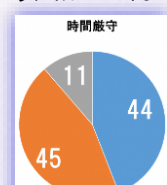


「感謝の心」を意識することで自分自身が温かい気持ちになり、自分も困っている人を見たら助けようという気持ちが高まります。

意識している人が63%、意識している方だという人が34%

「時間厳守」は、決められた時間を守らないことは、集団や相手の大事な時間を無駄にしまいます。約束事を守れない人、信用できない人とみられてしまいます。

意識している人が44%、意識している方だという人が45%



「環境美化」は、「環境が人をつくる」と言われるように、校舎や教室がどのように整備されているかによって、学習し生活するみなさんの気持ちの安定に影響を与えるものです。

意識している人が59%、意識している方だという人が33%

多くの人が意識して生活していることがわかりました。今後は、「意識している方だ」という人たちが、自信をもって「意識している」と言えるようになってくれること。「できていない」と思う人たちが意識して活動することに期待しています。ぜひ、夏休み明けの学校生活につなげ、文化発表会などの行事を成功させていきましょう。